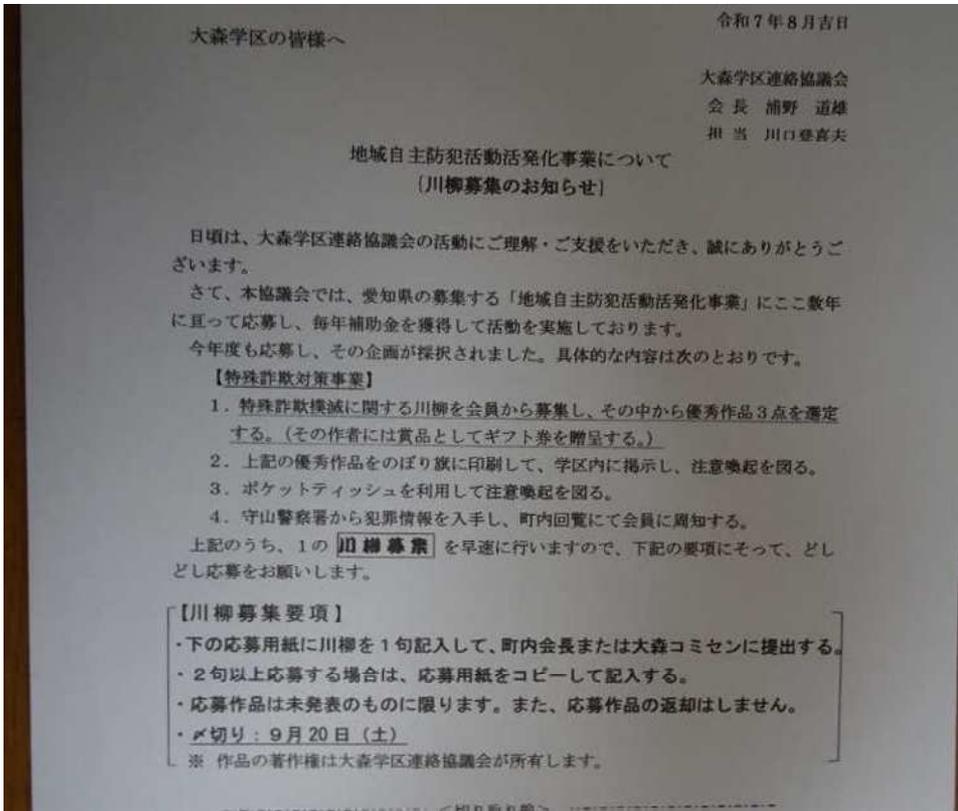


### 3 大森学区連絡協議会（守山区）

## 地域自主防犯活動活発化事業

### 実施結果報告書

1 団体名	大森学区連絡協議会
2 事業名	大森学区特殊詐欺撲滅事業
3 事業実施結果	<p>特殊詐欺の被害に遭わないためには、会話や振込行動などのどこかで気がつく事が出来れば抑止できる。そのためには、繰り返し注意喚起を行い、詐欺への関心を高める事が重要と思われる。</p> <p>今回の特殊詐欺対策事業として、「電話1本 詐欺のもと」のスローガンを掲げて、特殊詐欺撲滅キャンペーンとして次の事業を行った。</p> <p>1 特殊詐欺に関する川柳の募集</p> <p>各種新聞や雑誌等で川柳の募集があるが、特殊詐欺に関して川柳を考えれば関心が高まる。川柳募集のお知らせ文書を約3,000世帯へ全戸配布した。</p>  <p>100編の応募があった。</p>

## 2 最優秀作品及び優秀作品の選定

応募作品の中から3点の優秀作品を選定して、その内から最優秀作品を選定した。

最優秀作品    チョット待て 電話でる前 ひと呼吸  
優秀作品        特殊詐欺 まさか私が いかんがね  
優秀作品        この電話 録音します ハイどうぞ

後日の敬老会行事の中で、作品の紹介及び副賞で最優秀作品には1万円、優秀作品には各々へ5千円のギフト券を贈呈した。

## 3 啓発品用品の準備

### ① のぼり旗及び旗用ポールの発注

最優秀作品及び優秀作品、そしてスローガンの4種類ののぼり旗を各15旗、合計60旗を注文した。旗用ポールは10本注文した。



② ポケットティッシュの発注

特殊詐欺防止文章入りのポケットティッシュ2種類を各2000個、合計4000個を注文した。



③ 防寒手袋の発注

11月、12月にのぼり旗を持ってパトロールや公園で啓発を行う際に使用する。22個を注文した。

4 のぼり旗の掲揚

大森学区内でのぼり旗を掲揚出来る場所に常時掲揚した。

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| ① 大森学区連絡協議会 役員・町内会長宅    | 22旗 |
| ② 大森コミュニティーセンター (室内・屋外) | 3旗  |
| ③ 瀬戸線大森駅近くの駐輪場          | 4旗  |
| ④ ゆうちょ銀行 大森郵便局          | 2旗  |
| ⑤ 瀬戸信用金庫 大森支店           | 2旗  |
| ⑥ 愛知銀行 大森支店             | 1旗  |
| ⑦ ファミリーマート 大森店          | 1旗  |
| ⑧ セブンイレブン 大森店           | 1旗  |
| ⑨ ローソン 守山警察署北店          | 1旗  |
| ⑩ その他・予備                | 23旗 |





#### 5 のぼり旗の掲示及びポケットティッシュの配布

- ① 大森の八剣神社の秋のお祭りの際に、神社階段下でのぼり旗を掲示しながら、ポケットティッシュ 550 個を配布して、特殊詐欺防止をアピールした。
- ② 民生委員による秋のお弁当配達の際に、お弁当を注文された独居の方々にお弁当にポケットティッシュを同封し、又お弁当の配達の方々にもアピールして、合わせて 200 個を配布した。
- ③ 大森コミュニティーセンターのコミセン祭りにコミセンに集まった方々にのぼり旗の掲示とポケットティッシュの配布で特殊詐欺防止をアピールした。  
配布したポケットティッシュは 350 個であった。
- ④ 敬老会で今回募集した川柳の最優秀作品 1 点及び優秀作品 2 点の紹介及び副賞の授与を行った。最優秀作品には 1 万円、優秀作品には 5 千円のギフト券を贈呈した。  
会場にのぼり旗を掲示し、座席の上にポケットティッシュを置いた。  
配布したポケットティッシュは 300 個であった。
- ⑤ 大森学区防災訓練でのぼり旗を掲示した。
- ⑥ 高齢者訪問活動では、ひとり暮らしの高齢者宅へ金城大学学生と共に、のぼり旗を掲揚して訪問しポケットティッシュを手渡しして特殊詐欺防止をアピールした
- ⑦ 学区全体で行われる町内ごとの防犯パトロールでのぼり旗を掲揚して、特殊詐欺防止をアピールした。

⑧ 学区内の公園の一斉清掃の際に公園に集まる方々にのぼり旗を掲揚して、特殊詐欺防止をアピールした。





## 6 特殊詐欺防止のポケットティッシュの置配

特殊詐欺防止を印刷した紙片の入ったポケットティッシュを金融機関3行コンビニエンスストア3店及び大森コミュニティーセンターに「自由にお持ちください」とのお知らせを書いて置配した。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ① ゆうちょ銀行 大森郵便局  | 300 個 |
| ② 瀬戸信用金庫大森支店    | 300 個 |
| ③ 愛知銀行 大森支店     | 300 個 |
| ④ ファミリーマート 大森店  | 300 個 |
| ⑤ セブンイレブン 大森店   | 300 個 |
| ⑥ ローソン 守山警察署北店  | 300 個 |
| ⑦ 大森コミュニティーセンター | 300 個 |

150 個ずつ 2 回に分けてお願いした。

1 週間で 150 個はなくなった。





7 特殊詐欺防止チラシの回覧

守山警察署より「地域安全対策ニュース」を入手して2度回覧した。

4 成果と課題  
及び今後の  
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

特殊詐欺撲滅キャンペーンとして、川柳の募集をして関心を持ってもらった。応募作品は100編、応募者は39名であるが、応募には至らないが、興味を持った方は多いと思われる。

のぼり旗を作成して学区内の掲揚出来る所にもれなく掲揚し、又学区行事の全てにのぼり旗を掲揚して特殊詐欺防止を訴える事が出来た。

又、ポケットティッシュの置配に付いても意外な程の速さでポケットティッシュがなくなる事に驚いた。身近なポケットティッシュを使用するたびに特殊詐欺防止の一助になることを期待せずにはいられない。

課題は川柳募集案内作成からのぼり旗の納品までの準備期間に時間がかかり契約から行動実施までに約1ヶ月の待機期間があった。

川柳の募集、優秀作品選考、のぼり旗の作成等の時間見積もりが不十分であった。

特殊詐欺はいろいろな手口に変化している。高齢者対象から中高年者、若者も対象となっている。今回の川柳募集が中高年、若者に届いているのか心配になる。

(2) 今後の取組み

のぼり旗の掲揚は引き続き行う

守山警察署から情報提供を受け、情報発信を行う